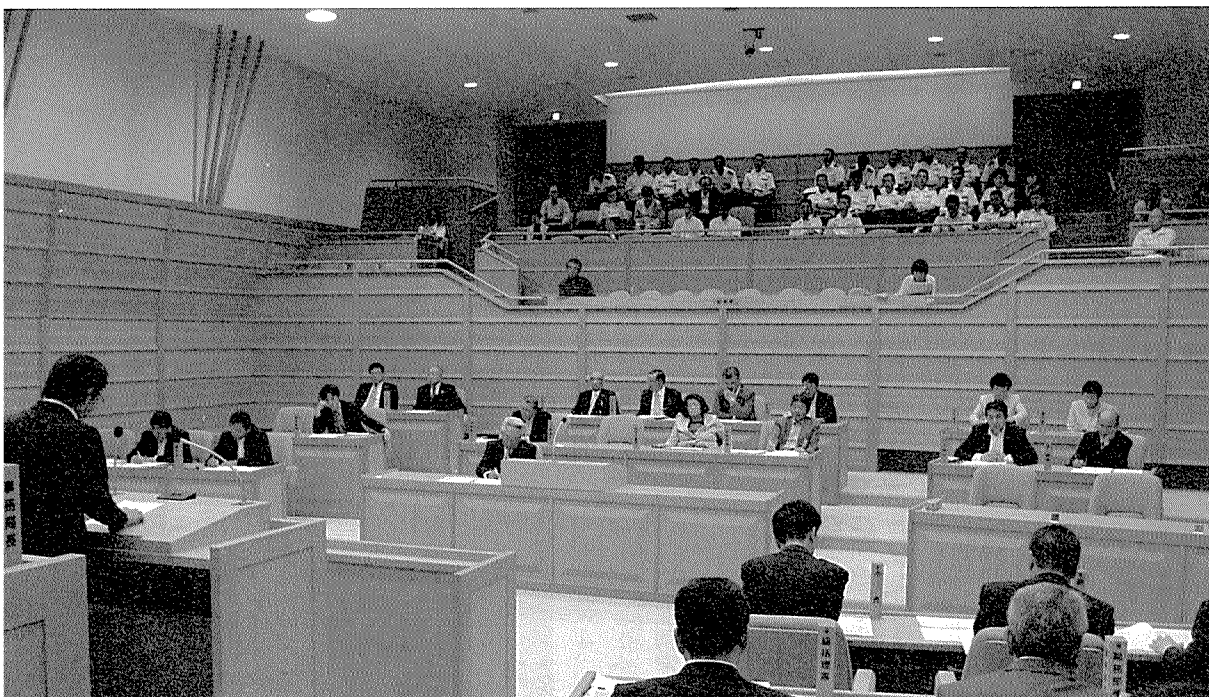
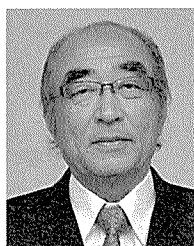


市議会だより

2012.8.1
No.2



議長 水口典一



副議長 田村 勇

「身近な議会を目指して」

第2回定例会は6月12日開会し、21日に閉会いたしました。

今定例会は、一般質問において15名の議員が登壇され、市民の代表として政策議論を展開されましたことは、議会活性化に向け一石を投じる結果になったとともに、市民の意志を市政へ反映させる一助となりました。

また、陸上自衛隊滝川駐屯地の幹部隊員25名の皆さまにも議会にお越しをいただき、議会への関心の高まりを感じさせられる定例会となりました。

「議会だより」を本年5月に発行させていただき、市民の皆さまから多くのご意見を頂戴いたしました。皆さまのご意見を参考にさせていただきながら、さらに親しまれ、身近な議会を目指してまいりますので、今後とも議会に対するより一層のご助言をお願い申し上げます。

●目次●

主な議案のあらまし	2
議決結果	2
一般質問	3～10
常任委員会の動き	10～11
議会日誌・編集後記	12

第2回定例会

主な議案のあらまし

平成24年第2回定例会は、6月12日から21日までの10日間の日程で開きました。

本定例会では、市政全般について15人の議員から一般質問が行われたほか、平成24年度一般会計補正予算、条例制定、意見書案など議案18件が審議されました。

議決された主な内容についてお知らせします。

◎平成24年度一般会計補正予算

一般会計で5,741万7千円を追加補正し、総額203億364万2千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費は、老朽化及び雪害に伴う旧滝川市農業試験地納屋ほかを解体する経費327万6千円、北海道の青年就農給付金事業補助金及び青年就農給付金推進事業補助金を受けて行う青年就農給付金事業を実施する経費475万円、財自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を活用して海流座滝川公演を行う海流座滝川公演実行委員会に対する補助金180万円、教

育支援センターに隣接するグラウンドをソフトボール場として整備する経費4,397万4千円などです。

◎条例の制定

次の条例を原案のとおり可決しました。

○住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例を制定しました。

◎そのほか可決された議案

○工事請負契約の締結について（滝川市営住宅東町団地建替第一期工事）ほか11件

◎意見書に関係機関に送付

○地方財政の充実・強化を求める要望意見書ほか3件

平成24年 第2回滝川市議会定例会議決結果

●平成24年度補正予算

- ◎ 平成24年度滝川市一般会計補正予算(第3号)

●条例

- ◎ 住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

●意見書

- ◎ 地方財政の充実・強化を求める要望意見書
- ◎ けいれん性発声障害(SD)の研究・治療の推進を求める要望意見書
- ◎ 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める要望意見書
- ◎ 基地対策予算の増額等を求める要望意見書

●その他

- ◎ 工事請負契約の締結について(滝川市営住宅東町団地建替第一期工事)
- ◎ 不動産の無償譲渡について
- ◎ 空知教育センター組合規約の変更について
- ◎ 議員の派遣について
- ☆ 社団法人滝川国際交流協会の経営状況について
- ☆ 滝川市土地開発公社の経営状況について
- ☆ 財団法人滝川市生涯学習振興会の経営状況について
- ☆ 専決処分について(損害賠償額の決定)
- ☆ 専決処分について(損害賠償額の決定)
- ☆ 専決処分について(損害賠償額の決定)
- ☆ 監査報告について
- ☆ 例月現金出納検査報告について

◎ 全会一致可決 ○ 賛成多数可決 ☆ 報告済

※議決結果の概要については、滝川市公式ホームページ内の市議会のページでもご覧いただけます。

第2回例会 一般質問から



市民クラブ
柴田 文男
議員

東日本大震災から1年を経過して

質問 東日本大震災の記憶を風化させてはならない。

市として大震災を教訓として取り組まなければならない市民の安心と安全について伺う。

答弁 宮古市などの支援については、友好都市ネットワークによる炊き出し支援、イベントの開催、小中学校給食への滝川産食材の提供と楽器購入費支援を行うなど、今後とも息の長い支援を進めます。また、東日本大震災の教訓を踏まえ、今年度名護市とは7月、栃木市とは11月に「大規模災害時における友好親善都市間の相互応援協定」を締結する予定です。

南スーダン派遣隊員家族への支援について

質問 続々と滝川駐屯地からの現地派遣がなされている。派遣隊員

の家族等へ必要な支援をすべき。市長の考えを問う。

答弁 過酷な環境での任務に就かれています派遣隊員に敬意を表します。派遣隊員の留守家族に対する支援については、生活不安の軽減と安心のため、6月25日以降、市役所1階市民課に様々な相談、手続き等に関する窓口を設置し対応します。また、自衛隊協力会、充実促進協議会などとも連携し、積極的な支援を行っていきます。

滝川市教育推進計画について

質問 当中の中・長期にわたる大変重要な基本理念、基本目標が示された。

日本一の教育都市づくりに向けた市長の姿勢を問う。

答弁 本推進計画は「教育のマチたきかわ」を誇りとして、さらに進化、充実を図るもの。「魅力ある滝川市の教育」実現のため、教育環境の整備を着実に実施したい。本年度から外国語指導助手の増員、教育支援センター整備と併せた適応指導教室など、学校改築のほかソフト面でのマンパワーの活用、充実に努めます。



新政会
関藤 龍也
議員

市民税1%事業について

質問 市民税1%事業内容と助成基準をどのように見直されたのか。

答弁 多くの市民、団体に利用していただけるよう今年度より対象の一部を見直し、団体が申請しやすくなるため事業区分を3つに分けた。①スタートアップ事業（新規、最大5万円の補助）②地域連合町内会イベント事業（15万円を上限とし、地域活性化のための助成）③テーマ・プロジェクト事業（50万円を上限）とし、事業区分を明確化することで多くの市民に利用していただけるようにしました。

質問 1%に相当する事業費は1、500万円だが、500万円の予算計上しているのは何故か。

答弁 予算を500万円としているのは、21年度コミュニケーション推進事業と市民力推進プロジェクト事業を合せて300万円の予算を計上していた経緯があり、これをもとに22年度約347万円、23年度約219万円の利用実績から算出

しました。

企業誘致について

質問 新副市長は、地域経済活性化のため企業誘致に取り組んでいただくこと、また、民間感覚で市役所改革を進めることを使命として採用されたと思いますが、その見通しについて伺う。

答弁 東京へ2回、札幌へ3回、延べ33企業を訪問した。6月に1社、7月に2、3社の来滝予定がある。現下では千歳、札幌を越えて誘致を進めることは大変難しい。むしろ、地場企業を支援し、生産雇用増を図るのが優先課題と感じています。地場企業の新たな商品開発や既にある商品の競争力を高め内発型の活性化に取り組みたい。そのため、既に流通業界に働き掛けている。企業誘致は委託生産から誘致につながるなどの工夫が必要。市役所改革は、①職員のモラル（やる気）は高いが、人を通じて得られる情報にもっと貪欲であってほしい。②事業の継続性、特に施設運用の継続性担保について民間の考え方を紹介したい。民間は常に継続性と成長性を問われ、それが今後は自治体にも求められる。



新政会
小野 保之
議員

パークゴルフ場について

質問 市長公約の一つでもあるが、パークゴルフ場の整備について、10万円の予算がついているが、進捗状況を伺いたい。

答弁 実現に向けて自治体、専門コンサル等の聞き取りを実施しています。次年度当初の実施設計に向け補助事業採択の可否など視察等も行い、総合的に検討しています。

百年記念塔と周辺利用について

質問 建設後、22年経過し外壁等傷みもあるが大丈夫なのか。また昨年12月に陸上自衛隊曹友会の発案、協力の下、イルミネーション、ランタンの設置・点灯と冬の想い出になる催しがあつたが、今後の利用目的の検討はされているのか。

答弁 百年記念塔は平成11年3月に閉館するまで13万7千人の利用がありました。設備の老朽化により、当面、現状のままシンボルタワーとして維持していきたい。

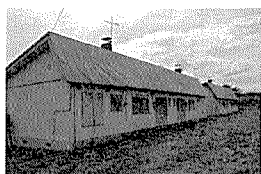
質問 冬期にスキー等で利用されている山は、歩くスキー、チューブ滑り等、家族で楽しめる憩いの場でもあるが、自衛隊の山と連携してスロープを利用したスキー学習等幅広い活用はできないか。制約もあり難しいと思うが、利用状況も含めて伺いたい。

答弁 公園の利用者は昨年3、958人でした。自衛隊の山との連携については、これから勉強させていただき、更に活用の方法を考えたいと思います。

教員住宅空き家対策について

質問 扇町の空き家になっている教員住宅は、売却による処分か、解体を検討することだが、どうなっているのか。

答弁 現在は全て空き家状態で、周辺の皆さんに迷惑をかけています。屋根のトタンを板で打ちつけたリ、ワイヤーで飛散防止や割れた窓はコンパネを張って修繕、害虫の駆除、除草などを行っています。教育委員会で売却の方向で考えています。



▲教員住宅



市民の声連合
渡辺 精郎
議員

道教委の「会計検査院による検査及び全道調査結果に基づく処分措置」について

質問 勤務は「不適切」と会計検査院から教育振興会の役員会が批判されているが、反論や抗議もしない市教育委員会（市教委）の立場を聞きたい。また、退職した教職員にも再調査が実施されているが、滝川市分の該当者数を伺う。

答弁 教育振興会が指摘されているわけではない。役員会への出席が勤務時間内で内部管理業務のみに従事していたと思われる事案の調査であり、市教委としては道教委に意見を申し上げる立場でない。再調査の人数は退職者14名、現職者161名、計175名です。

質問 校長会会議も不適切勤務がないか指摘されたのではないか。

答弁 会議に出席したことが「不適切な勤務」とされた事案はない。

質問 退職者に送付された「事情聴取記録」で質問する。教育振興会（平成18年度）の役員会の時間を不適切としたのではないか。

答弁 早く会議が終わったのに職場復帰しない不適切な例がなかったかを調査しました。

質問 時間だけでなく、役員会の内容も質している。役員会を不適切視していないか。

答弁 不適切視していないが、時間を調べるためにどんな内容だったのかを聴き取りました。

質問 ある市の教育長名の「職務命令書」がある。市教委も教育長名で調査の命令を出したのか。

答弁 市教委は「職務命令書」ではなく「通知」で出しました。

質問 学校の「機械警備」と勤務時間のズレが問題視されている。校長の裁量に任せるべき。

答弁 今年5月から勤務時間の割振り変更ができるようになりました。教職員の勤務の特殊性がある。

校長のリーダーシップに期待したい。



▲質問する渡辺議員



市民クラブ
山本 正信
議員

街なか居住のさらなる推進について

質問 街なか居住のため、本市では昨年より共同住宅建設の補助を拡充しているが、制度の利用実績と今後の中心市街地活性化基本計画期間を超えてのさらなる制度拡充策があるのか。

答弁 昨年12月に補助制度を拡充後2件の相談があります。今、中心市街地の人口は高齢者向け施設の建設もあり、2、817人と目標値を超えています。来年度以降の施策は、住宅施策検討会議で検討します。

個人住宅の建設の優遇策について

質問 中心市街地では多くの空き地が目立つが、集合住宅建設のみではなく、個人住宅建設の優遇策は考えていないのか。

答弁 現在、個人への優遇策は考えていませんが、住宅施策検討会

議（検討会議）の議論を踏まえコンパクトなまちづくりを目指した施策を見出します。

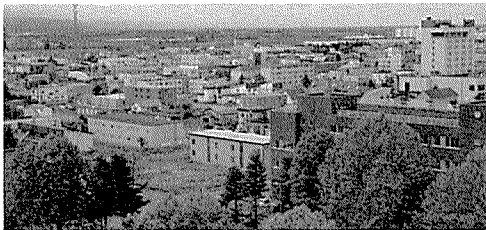
高齢者と若者の住宅政策について

質問 今、周辺住宅地で高齢化した夫婦二人世帯が増加しているが、子供たちや支援する人がいないときの冬の除雪、また車に乗れなくなったときの日常の買い物等の困窮世帯が増加している。そこで街なかにもっと公営住宅を建設し、

今までの住宅を若い子育て世代に格安で居住してもらうことで中心市街地に住む家賃に充てる仕組みづくりができないのか伺いたい。

答弁 街なか居住の必要性は認識しています。

本年度も検討会議が開催されるので、その仕組みづくりを論議し平成25年度の事業実施に向け検討します。



▲中心市街地の空き地



市民クラブ
荒木 文一
議員

中心市街地活性化について

質問 商店街の空き店舗対策が行われているが、後継者問題や高齢化により廃業するケースが多い。市のホームページを活用した事業継承者募集を実施したらどうか。

答弁 これまで市では、新規出店や様々な育成支援策を講じながら、事業主への意向調査を実施するなど、空き店舗解消に向けて施策を行ってきました。ご提言の事業継承者募集については、移住定住促進なども含め、関係団体とも協議しながら検討していきます。

介護保険居宅サービスについて

質問 市内居住者の「短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）」の利用実態はどうなっているか。希望者と受入れ可能数など、需給のバランスの視点で伺う。

答弁 市内施設の平成23年度利用件数は、特養で38件、老健で20

3件であり、施設側の空き状況により希望される施設入所が出来ないなど課題はありますが、近隣市町の施設をご利用いただくことでサービス提供が可能であると認識しています。

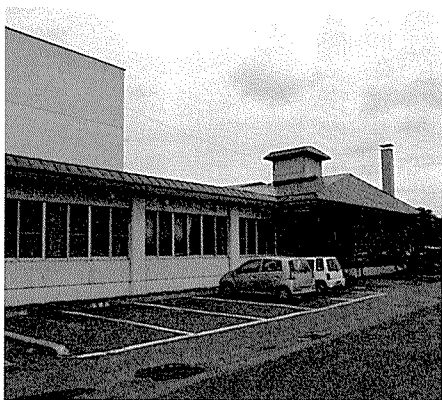


▲老人保健施設ナイスケアすずかけ

滝川市政功労者制度について

質問 審議会開催、記念品、弔慰金などを含め年間の費用はどれくらいかかっているのか。また、この制度の継続については、廃止も含め再考する時期にきているのではないか。

答弁 平成23年度は、5名、2団体で約96万円ほどの費用が必要となっています。また弔慰金は、功労者3万円、奨励者2万円、供花は1万円程度です。制度の存廃に様々な議論があるのは承知していますが、大事なのは敬意と感謝を表すること。あり方は検討していきます。



▲老人ホーム緑寿園

市民クラブ
木下八重子
議員

緑寿園の譲渡と早期の改築について

質問 昨年の第4回定例会で質問したが、その後の社会福祉事業団との協議の進捗状況と施設整備に向けた展望を伺う。

答弁 施設改修の必要性や規模、優先順位など、当面の課題について整理した上で手立てを講じていきます。いろいろな選択肢が考えられますが、市民、議会の理解を得られる形で早期に譲渡問題を解決し、施設整備についても検討していきます。

子育て支援について

質問 放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用状況と今後の拡大について伺う。

答弁 今年の4月から開館時間を18時30分までに延長しています。それぞれの学童クラブでは5～10名程度、1～2割の方が18時以降も利用している状況。定員を超えての学童クラブでは、限られたスペースの中でどのようにすればより多くの希望に応えることができるのか、近隣施設での拡大も視野に入れながら検討していきます。

公営住宅の入居基準について

質問 当初の入居基準を満たさなくなった入居者を全て把握しているのか。そうした入居者をチェックするシステムはあるのか。

答弁 基準は当初入居時点での基準であり、その後に世帯構成に変更が生じて直ちに明渡し又は条件に合う住宅への住替えをしなければならぬとの規定はありません。また、収入及び世帯構成等のチェックについては毎年8月に入居者に申告を義務付けし確認を行っています。

市民クラブ
窪之内美知代
議員

市民との対話によるまちづくり

質問 政策づくりなど、市民意見の反映を目的として設置される委員会等の人選は、特殊な場合を除き公募を前提とし、極力重複を避け、一人でも多くの市民が参加できるよう選出すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 平成8年に公募制を導入、12年4月に委員会、審議会等の設置及び見直しに関する基準を設け、重複選任や年齢構成の偏り等に配慮し適正な運用に努めてきました。今後、より幅広い世代の様々な立場の市民の声を取り込んだまちづくりが重要であり、他市の公募のあり方や取組状況などを調査しながら、方策を検討します。

福祉除雪は万全な体制で

質問 吹雪等で通常より大幅な遅れが予想される時、依頼者への状況連絡と安全確認を実施すべき。また、広大な農村部を含む江部乙

地域の除雪作業者を1人から2人にすべき。対応を伺う。

答弁 「大雪時の福祉除雪サービス対応マニュアル」とそのフローを改めて作成し、委託先の社協・事業者と認識をひとつにしました。大雪時の利用者の不安軽減と避難通路確保を最優先とし、利用者周知の方法も明確にして対応します。江部乙農村部は、除雪延長が市街地に比べ長く、サービス提供体制のあり方や緊急時の対応含め、委託先の社協と協議します。

高齢者の交通手段確保について

質問 通院や買い物時の交通手段の確保にあたり、敬老特別乗車証を利用できない高齢者にも何らかのサービスを受けられるようにすべき。見通しを伺う。

答弁 町別に敬老パス保有者の3分の1の方に、ヒヤリング調査を実施した。この調査や、これまでの検討を踏まえ、ワンコイン制の継続、回数券方式への移行、タクシー利用の導入も視野に、高齢者の外出支援という視点から、財政面を含めた総合的な観点で、今年度中に方向性を導き出す努力をします。



新政会
坂井 英明
議員

観光資源について

質問 観光資源の発信、今後の戦略はどのように行っているか。

答弁 観光資源は、観光振興計画に示した通り、花と自然景観・食の魅力アップ・体験型観光があります。市民や団体との連携、イベントの開催、特産品開発、体験メニューの充実を行っています。

情報発信は、観光大使の活用、口コミ情報など臨機応変に実施しています。国際戦略は、国際交流員の活用、インターネット情報発信、市長自らPRを行って行きたい。

生活扶助について

質問 今年札幌で起きた姉妹の死亡事故を踏まえた相談体制。また、受給者の中で、働くことの出来る人への指導・対策について伺う。

答弁 生活相談のため来所した人に対し、面接相談員2人体制で、ライフライン等の相談者の生活状況を把握したうえで、他の法律や

施策の活用の助言、保護申請の意思の確認を行い、生活困窮者の把握は、民生委員・児童委員との連携、関係機関との情報の共有で対応しています。働くことの出来る人へは、求人情報の提供・就職活動への事前指導など「就労支援プログラム」や、ハローワークと共同の「福祉から就労支援事業」を活用しています。今後、民間の職業紹介業者の活用も検討しています。

震災がれきの受け入れについて

質問 中・北空知廃棄物処理広域連合への震災がれき受け入れ可否の検討について伺う。

答弁 広域連合構成市町長会議で、がれきが住民に対して安心・安全なものとするための示せるのか、建設中の焼却炉が構成市町の廃棄物以外に受け入れる余力・能力があるかを総合的に判断できる状況が整い次第、改めて議論する必要があります。と意見交換を行いました。

質問 市長としてのスタンスは。

答弁 安全についての裏づけが必要と考えます。広域連合の判断によってはその後、市民へ説明をし、理解を得たうえで検討していきたい。



市民クラブ
大谷久美子
議員

公営住宅入居における規制について

質問 公営住宅入居の際、ペットの飼育が禁止されているが、去勢や他の人の迷惑にならないような飼いや、棟の指定など工夫すれば飼育可能になるのではないか。

答弁 容認した場合、トラブルが発生しやすく、壁や畳などが傷みやすい。公平性を考慮すると飼育禁止は妥当と考えます。社会情勢の変化に伴いペットがパートナー的存在になっていくことは認識しています。公住法の改正や、他市の状況を考慮しながら検討します。



▲公営住宅

フッ化物洗口について

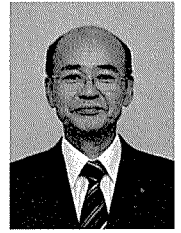
質問 使用されるフッ化ナトリウムは薬事法上劇薬となっている。溶液の作製を学校薬剤師に委ねられないのか。保管庫の確保はどうなっているか。

答弁 薬品の管理取り扱いは、使用する薬品を教育委員会が確認し安全確保の目的から学校歯科医師と協議し、学校薬剤師に計量・分包作業をしてもらう。ガイドブックの手順により教職員が洗口液を作ることに問題はありません。保管に適した場所に鍵付きの保管庫を整備します。

中学校の体育武道実施について

質問 今年度から武道が必修となり、柔道着の購入が必要となる。授業時数も少ないことから保護者負担の軽減を図るため、学校に備えることはできないのか。

答弁 安全で、効果的な武道実施のためには柔道着は必要で、個人の体格に合ったもの、衛生面などから今の段階では個人負担でお願いしたい。授業時数は年間10時間で、就学援助の方には助成します。



公明党
堀 重雄
議員

少ない職員でも、職員全体として力を発揮できる仕組みについて

質問 「少ない職員でも、職員全体として力を発揮できる仕組み」の取り組み、また現状の仕事を簡素化する努力はされているのか。

答弁 職員研修による人材育成を実施しています。今年度は200人以上を予定。昨年より民間企業、自衛隊などにも拡大。仕事の改善は全職員で取り組んでいきます。

人事評価制度について

質問 市民の皆様は信頼される市役所づくり推進プランでは、頑張る職員が報われるような人事評価制度が今年度から実施予定だが、その内容を伺う。

答弁 検討をしてきました。色々な面で難しい課題があります。現時点では、例えば部、課の組織単位での目標管理に対しての評価を考えています。もう少し時間が必

要です。

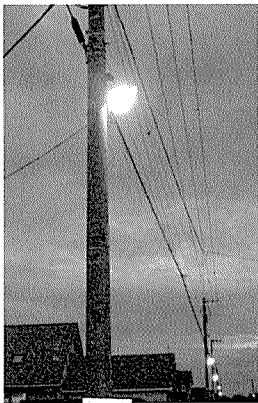
防犯灯のLED化について

質問 町内防犯灯をLED灯にすることで費用対効果を伺う。また助成制度の対象とすべきでは。

答弁 LED灯設置による節電効果は、月1灯当たりの電気料で約300円と見込まれます。水銀灯の電球や安定器の取り替えを考えれば、最短5年程度でLEDに交換する効果が出ると考えます。今は助成の対象ではありませんが、マイマイガ対策や町内会からも多数の問い合わせがあるため、補助の見直しを検討しています。

質問 市の防犯灯を全てLED灯に切り替えると節電額は。

答弁 市内の100Wまでの水銀灯は2、055灯あり、それを全てLED灯にすることで年間約744万円の電気料の縮減が図られると考えられます。



▲東町1区町内会のLED灯



日本共産党
清水 雅人
議員

スクールバス乗降時の安全性向上を

質問 安全性と契約方法見直しを。

答弁 衝撃緩和材取付け等の対策をとる。長期契約とし価格競争だけにならないよう協議したい。

税徴収に問題 内部調査を求める

質問 固定資産税で連帯納税義務者に督促せず不納欠損は問題。

答弁 所管から適正との報告あり。内部調査の考えはありません。

セシウムを市独自に測定すべき

質問 放射性物質が全国的に拡散し道内も局地的に放射線量が高いおそれがあり土壌調査を行うべきだとの学会での報告がある。

答弁 当該報告では、滝川地域への有意な影響は読み取れず、独自測定は考えていません。

被災地支援について

質問 がれき受け入れ検討時期は

4月以降、処理可能量は。

答弁 時期4月以降。年間千トン。

質問 がれき受け入れは、道・市が汚染されていないとする地域への汚染物質持込みにならないか。

答弁 国や道の基準値をどう受け取るかによって、判断基準違う。

質問 被災地支援を急ぐことを重視するならば公務員派遣等に重点を移すべき。事務系も数十名不足している。

答弁 市として可能な部分があれば検討していきたい。

花月・空知中島町地区に新会館を

質問 花月・空知・中島町地区は、南地区福祉会館等の廃止で地域コミュニティに支障が出ている。

答弁 人口増地域。運営など地域の考えをまとめてほしい。

市庁舎の環境改善を

質問 駐輪場の増設を。また1階ロビーのロールカーテン増設を。

答弁 中学・高校生のテスト期間は、臨時駐輪場を設置します。ロビーの他の窓からは照射量が少なくロールカーテンを増設する考えはありません。



公明党
三上 裕久
議員

鈴木副市長の基本姿勢について

質問 滝川市の可能性とそのことを具現化できる期限を伺う。

答弁 基幹産業の農業を強くして食品加工や食品産業に可能性を見出していききたい。また、滝川は様々な新しいものを外から受け入れる柔軟性のあるまちだと思っているので、メガソーラー等の新事業体の受け入れにも可能性ががあります。3年間いただいて目に見える成果を出したい。

公明党が推進する防災・減災 ニューディール政策について

質問 公明党の防災・減災ニューディール政策は、当市にとってどのような効果を及ぼすと市長は考えるか。

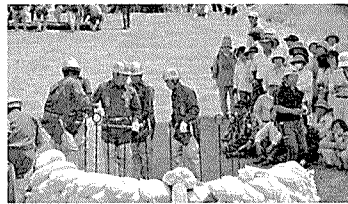
答弁 この政策は、インフラ整備のための公共事業により、失業者を減らし、景気を回復させるものと聞いています。
地域の安全・安心という命を守る

る政策は重要と考えます。この政策が実現され、地域を活性化する筋道となることを期待します。

防災教育について

質問 日頃の防災教育は、東日本大震災以来、重要性を増してきているが、学校現場での現状を伺う。

答弁 家庭や地域と連携を図り、発達段階に応じた指導の充実が求められています。各学校では、様々な場面を想定した避難訓練を年2回程度実施しています。



通学路の安全確保について

質問 通学中の児童の列に車が突っ込むという事故・事件が各地で発生しているが、当市における通学路の安全確保の現状を伺う。

答弁 各学校で通学路の安全点検を地域・PTAの皆さんのご協力もいただき年に2回以上点検しています。危険箇所があった際は、開発局・警察など関係機関に改善要望をしています。



新政会
山口 清悦
議員

地方公営企業会計制度の見直し

質問 今年1月に総務省が発表した地方公営企業会計制度の見直しは、借入資本金の負債計上や短期債務の流動負債計上など多岐にわたるが、財政健全化比率等に悪影響はないか伺う。

答弁 基準の見直しにより企業会計自体は従来と変わりがないにもかかわらず貸借対照表上の負債が増加する事になり、特に流動負債が増加しますと財政健全化比率の指標が悪化することになります。指標が悪化を防ぐための調整をすることになっています。また、現在病院会計・下水道会計とも資金不足は発生しておらず、制度見直しによる資金不足も発生しないと見込んでいます。

障がい者福祉について

質問 今後の障がい者支援事業は、障がい者の生活行動圏を基に行い、そのためには自治体の枠を超えて

中空知近隣市町と連携していくべきと考えるが市長の見解を伺う。

答弁 私も指摘の通りだと考えます。
当市には障がい者を対象とする入所施設が無く、様々なサービスを提供するには事業者等と連携した体制の構築が不可欠であると考えます。

現在策定中の中空知圏域ビジョンに基づいて障がい福祉計画の円滑な推進を図りたいと思います。

再質問 そらぶちキッズキャンプのあるまち滝川は障がい者に優しいということをキーワードとして今後のまちづくりをするべきと思うがいかがか。

再答弁 私（市長）も同感です。そらぶちキッズキャンプのあるまちとして今後も人に優しいまちづくりを目指していくので山口議員にも協力をして欲しいと思います。



▲そらぶちキッズキャンプ



新政会
渡邊 龍之
議員

新年度予算における新規事業の考え方について

質問 事業の選択と集中の中で30の新規事業を予算計上し、市長の政策、国・道の補助事業等が反映されていますが、地域住民・各種団体等からの要望等を聞き入れたか伺う。

答弁 会議や懇談会等で様々な意見、要望をお聞きし、政策立案の参考にしています。その中で財源対策も図りながら議会に提案し、事業決定をしています。

市民参加条例について

質問 市民との懇談会、ワークショップ、各種委員の公募等に対して、門戸を広げるという意味からも積極的な市民参加を促すために市民との協働のマチづくりを推進するうえで、市民参加条例の制定は行政として取り組むべき課題ではないかお考えを伺う。

答弁 市民会議委員の公募、懇談

会の実施、提言ハガキ、メール等、市民意見をお聞きする機会を積極的に拡大してきました。市政への市民参加は必要不可欠と考えています。

条例化については、市民自治基本条例策定市民会議の検討状況を踏まえ、条例制定に向けての考え方を整理してまいりたい。

高齢者の安否確認について

質問 当市の高齢化率は28%。高齢者支援を行うにしても、過剰な反応を示す個人情報保護法(条例)により高齢者世帯等の確認が容易ではない状況であり、地域住民が地域の高齢者を見守る安心サポートを推進する上で、新たな発想を持って、法(条例)の柔軟な運用が望ましいと考える。市長の考えを伺う。

答弁 高齢者の見守りを地域において進めるうえで、個人情報情報の扱いが課題と認識していますが、地域が一体となった取組みが不可欠であることから、民生委員及び町内会役員との意見交換を行うなど、効果的な安否確認、見守り体制を推進していきます。

常任委員会の動き

総務文教常任委員会

◆そらぶちキッズキャンプの視察

4月5日に総務文教常任委員6名、委員外議員9名の15名で今年グランドオープンするそらぶちキッズキャンプを視察しました。難病とたたかう子どもたちとその家族に対し、自然の中で安心して楽しく過ごしてもらうため特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを提供するもので、アジアで初となる施設です。メイン施設はそれぞれの建物が近く、できるだけ渡り廊下でつながるように設計されており、エントランスから森の案内所に入り、渡り廊下を渡って、食堂・浴室にたどり着き、その奥が宿泊棟になっています。

眺望の素晴らしさは最高で、暑寒連峰へ広がる空知平野、暑寒越しに沈む夕日は、絶景で利用者に大きな感動を与えるものと思います。これだけの施設だけに本格稼働すれば運営費は、年間1億円ともいわれ、この施設の意義を滝川市民一丸となって日本中、世界中

に発信していかなければならないと思います。子どもたちのほじける笑顔が目に見えます。

◆学校給食施設の整備について

当市の自校給食は大変好評ですが、いずれも現校舎の建設に併せて設置され、30年から50年が経過しており、老朽化が著しく、開西中学校、第三小学校の改築と併せて4校に設置し、親子給食とすることになりました。

衛生管理に適合した施設、食物アレルギーに対応できる、各調理場に栄養教諭を配置するなどの配慮のもとに平成25年から着手し、平成32年度終了の予定です。

給食施設の組み合わせ

- ①第二小学校調理場
東小学校・江陵中学校
- ②第三小学校調理場
第一小学校・明苑中学校
- ③西小学校調理場
開西中学校
- ④江部乙調理場
江部乙中学校(現行通り)

厚生常任委員会

■委員名簿

委員長 関 藤 龍 也
副委員長 堀 重 雄
委 員 清 水 雅 人
木 下 八 重 子
田 村 勇
荒 木 文 一

■開催状況

第12回 平成24年5月31日
第13回 平成24年7月2日

■調査事項等

- ・生活保護費詐欺事件に係る訴訟等の動行について
- ・平成24年度一般会計補正予算について
- ・むし歯予防デー開催について
- ・条例改正について
- ・戸籍システム共同運用について
- ・乳幼児等医療費助成に係る所得制限限度額見直しについて
- ・平成23年度コミュニティ施設の決算状況について
- ・男女共同参画計画策定検討会議の発足について
- ・未来へつなぐ市民税1%事業の報告会と審査結果について



▲7月1日から市立病院の医事業務が(株)ニチイ学館に変更

- ・太陽光発電システム導入に対する補助制度について
- ・省エネセミナーの開催について
- ・北海道電力からの節電要請について
- ・石狩川流域下水道におけるし尿処理共同処理事業について
- ・平成23年度ごみ処理状況について
- ・震災がれきの処理について
- ・放射線の測定について
- ・ごみ処理手数料の改定スケジュールについて
- ・クレジットカードの利用開始について
- ・市立病院の医事業務委託業者の変更について
- ・平成24年度地域医療研修について

経済建設常任委員会

■委員名簿

委員長 山 口 清 悦
副委員長 山 本 正 信
委 員 坂 井 英 明
小 野 保 之
三 上 裕 久
窪之内 美知代

■委員会開催状況

第13回 平成24年5月28日

■調査事項等

- ・菜の花まつりについて
- ・横綱白鵬関プロジェクトについて
- ・丸加高原健康の郷グリーンヒル丸加の運営について
- ・たきかわ観光プロジェクトについて
- ・こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催結果について
- ・北海道銀行との共催による個別商談会の開催について
- ・旧滝川市農業試験地納屋ほか解体工事について
- ・青年就農給付金事業について
- ・農業経営体育成支援事業について



▲香川県高松市高松丸亀商店街のアーケード

- ・建設部工事発注状況について
- ・駅前広場の再整備について
- ・都市計画の変更について
- ・石狩川流域下水道によるし尿等共同処理事業について
- ・工事請負契約の締結について
- 行政視察
 - 平成23年10月17～20日
 - ・香川県高松市 グリーンピア 岡本
 - ・香川県高松市 高松丸亀町商店街振興組合
 - ・大阪府堺市 環境モデル都市行動計画について
 - ・大阪府門真市 中西農園、株式会社門真れんこん屋

議会日誌 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

4. 4	第12回経済建設常任委員会が開催され、議長が出席した。	5. 21	国道451号道路整備促進期成会総会及び要望行動に出席のため、議長が札幌市に出張した。
4. 5	帯広市議会「市政会」会派一行3名が空き家等の適正管理に関する条例の調査のため来市した。	5. 22	埼玉県八潮市議会「公明党」会派一行5名が菜の花によるまちづくりの調査のため来市した。
4. 5	そらぶちキッズキャンプ整備事業の進捗状況確認のため、総務文教常任委員会委員等議員15名が視察調査を行った。	5. 22	全国市議会議長会第88回定期総会に出席のため、議長が東京都に出張した。
4. 10	國學院大學北海道短期大学部入学式が挙行され、議長が出席した。	5. 24	北広島市議会「日本共産党」会派一行2名が市立保育所の完全給食の調査のため来市した。
4. 10	第11回厚生常任委員会が開催された。	5. 28	第13回経済建設常任委員会が開催され、議長が出席した。
4. 11	第14回総務文教常任委員会が開催された。	5. 30	第15回総務文教常任委員会が開催された。
4. 13	福島県議会「公明党議員団」一行3名がバイオマスタウン構想の取り組みとリサイクリンの調査のため来市した。	5. 30	富山県射水市議会「民生病院常任委員会」一行11名が市立病院の経営について調査のため来市した。
4. 13	北海道市議会議長会道央支部協議会に出席のため、議長が美唄市に出張した。	5. 31	第12回厚生常任委員会が開催され、議長が出席した。
4. 16	第17回議会運営委員会が開催され、議長が出席した。	6. 1	佐賀県議会「公明党」会派所属議員1名がスカスポーツ振興事業の調査のため来市した。
4. 17	大分県大分市議会「公明党」会派一行4名が心の教育推進プランの調査のため来市した。	6. 3	陸上自衛隊第11旅団創立4周年・真駒内駐屯地開庁58周年記念行事に出席のため、副議長が札幌市に出張した。
4. 19	第1回市議会臨時会が開催された。	6. 6	第18回議会運営委員会が開催され、正副議長が出席した。
4. 19	第5回議会改革特別委員会が開催され、議長が出席した。	6. 7	国道451号道路整備促進期成会・石狩川治水促進期成会の中央要望に出席のため、議長が東京都に出張した。
4. 20	広島県呉市議会「公明党市議団」会派一行5名がリサイクリン、バイオマスタウン構想の調査のため来市した。	6. 8	～8
4. 22	第69代横綱白鵬63連勝記録並びに20回優勝記録祝賀会及び北海道選出衆・参議院議員への挨拶回り等の用務に出席のため、議長が東京都に出張した。	6. 11	滝川市戦没者追悼式が挙行され、正副議長が出席した。
4. 22	～23	6. 12	第2回市議会定例会が開催された。
4. 26	第75回北海道市議会議長会定期総会に出席のため、正副議長が士別市に出張した。	6. 17	北海道全調理師会滝川支部創立50周年記念式典が挙行され、議長が出席した。
4. 27	～27	6. 18	第19回議会運営委員会が開催され、正副議長が出席した。
5. 8	防衛施設周辺の生活環境整備に関する要望のため、議長が札幌市に出張した。	6. 19	第20回議会運営委員会が開催され、正副議長が出席した。
5. 8	岡山県倉敷市議会「文教委員会」一行11名が心の教育推進プランの調査のため来市した。	6. 19	第16回総務文教常任委員会が開催された。
5. 9	東京都府中市議会「公明党」会派一行4名が美術自然史館、こども科学館の概要調査のため来市した。	6. 24	陸上自衛隊滝川駐屯地創立57周年記念式典が挙行され、議長が出席した。
5. 9	～10	6. 27	山梨県甲府市議会「政友クラブ」会派一行10名がリサイクリンの調査のため来市した。
5. 11	全国自治体病院経営都市議会協議会第40回定期総会に出席のため、副議長が東京都に出張した。	6. 28	北海道交通遭難者慰霊・交通安全祈願式が挙行され、議長が出席した。
5. 11	静岡県長泉町議会「文教民生常任委員会」一行8名が心の教育推進プランの調査のため来市した。	6. 28	富山県高岡市議会「総務文教常任委員会」一行9名が未来へつなぐ市民税1%事業、心の教育推進プランの調査のため来市した。
5. 14	～15	6. 29	茨城県ひたちなか市議会「日新クラブ」会派一行5名が心の教育推進プランの調査のため来市した。
5. 17	青森県青森市議会「公明党」会派所属議員1名が心の教育推進プラン、未来へつなぐ市民税1%事業の調査のため来市した。	6. 30	滝川市水防総合訓練が開催され、議長をはじめ9名の議員が出席した。
5. 17	栃木県大田原市議会「文教常任委員会」一行7名が心の教育推進プランの調査のため来市した。		

発行責任者
滝川市議会議長
水口典一

委員長 窪之内 美知代
副委員長 坂井 英明
委員 清水 雅人
委員 三上 裕久

■たきかわ市議会だより編集委員会
初めての「市議会だより」に市民の皆様から「読んだよ」のお声とともに感想や質問内容の照会もありました。
編集委員会では、読んでいただける紙面づくりを目指し、掲載内容や形式について研究を重ねていきます。

編集後記

傍聴してみませんか

平成24年第3回滝川市議会定例会の開催予定日をお知らせします。

日程

9月6日(休) 本会議
9月7日(金) 本会議
9月19日(休) 本会議 一般質問
9月20日(休) 本会議 一般質問
9月21日(金) 本会議 一般質問等

開催日は、変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認して下さい。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048